

必須項目の達成状況について





1 候補ルートのコセプト

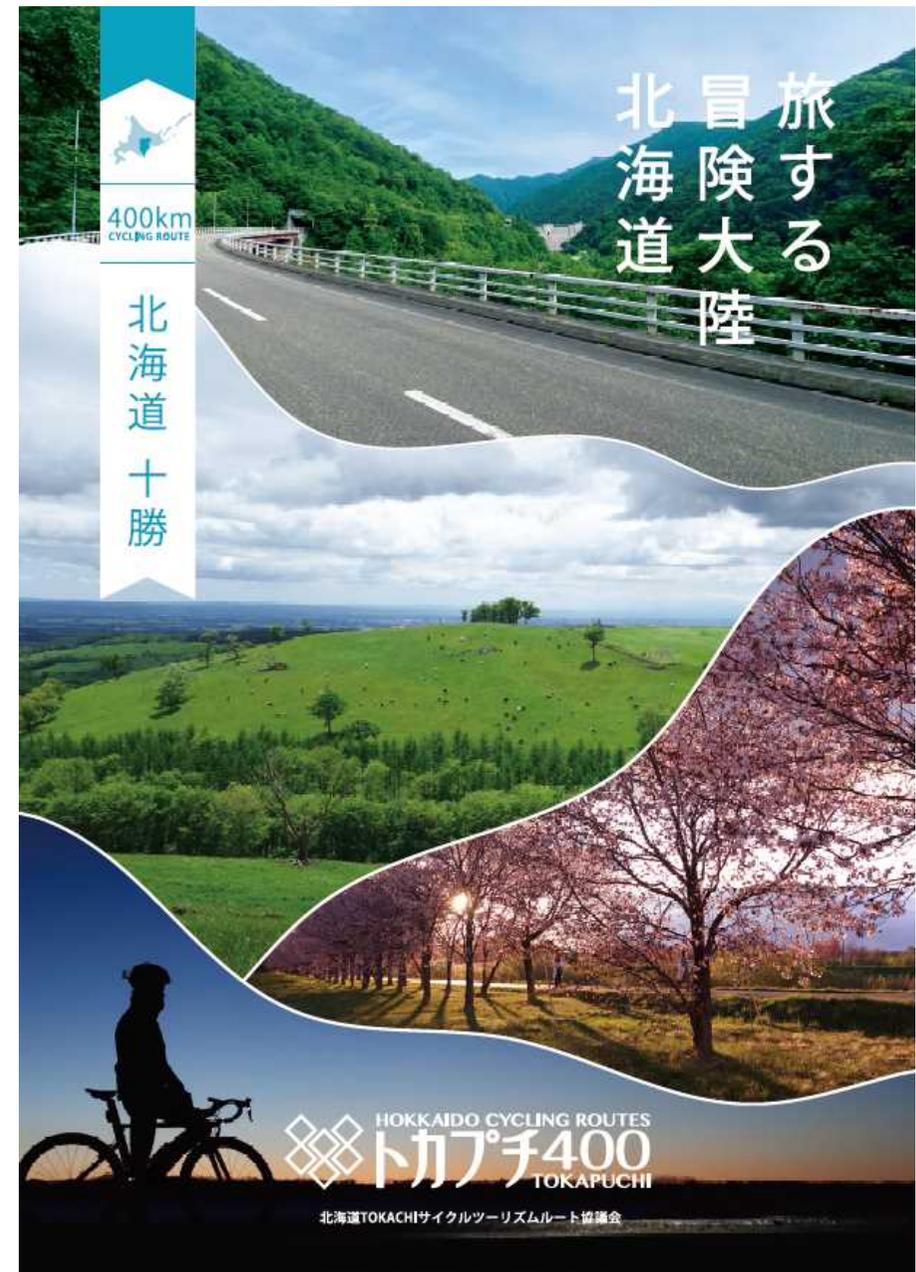
トカプチ400のコンセプト



【旅する「冒険大陸」北海道】

- ・北海道の南東部に位置し、岐阜県とほぼ同じ大きさの10,832km²の広大な面積を持つ。
- ・山、平野、海へ、雄大な十勝を感じることができるサイクリングルートとして設定。

- ・大自然を駆け巡る魅力!!
- ・食、景観、アクティビティ!!
- ・冬も含め1年中楽しめる!!
- ・様々な客層に対応!!



太平洋岸自転車道のコンセプト



サイクルツーリズムの高まりの背景には、旅行者(特にリピーター)の消費スタイルの変化がある(「モノ」中心から、「コト」消費へ)太平洋岸自転車道沿線は、世界遺産である富士山をはじめ日本を代表する観光地・景勝地が多数存在するゴールデンルート。こうした点を踏まえ、新幹線に代表される「Fast Tourism」に加え、日本の文化をじっくり味わい尽くせる新たな「Slow Tourism」を提案する、それが「太平洋岸自転車道」である。



～ FAST ONLYからFAST & SLOWへ～

日本を代表する魅力的な観光地・景勝地が多い“ゴールデンルート”に新たな「スロートーリズム」を提案
FAST & SLOWで、日本の文化を味わい尽くそう！

富山湾岸サイクリングコースのコンセプト



- ・富山湾は「世界で最も美しい湾クラブ」加盟（国内2番目・日本海側初）
- ・富山湾の美しい景色を楽しみながらサイクリングを行えるようコースを設定
- ・勾配が少なく、ファミリーからシニアまで幅広い世代の方が安全で快適に楽しんでいただけるコース

～世界で最も美しい湾クラブ～



・ユネスコが後援するNGO
世界遺産のフランス・モンサンミッシェル湾、ベトナム・ハロン湾など、世界の選ばれた46湾（25か国・地域）が加盟しており、湾を活用した観光振興と資源の保全を目的に活動している。



富山湾に浮かぶ立山連峰



日本海側最大級の斜張橋「新湊大橋」と海王丸パークのロケーション



美しいエメラルドグリーン
の自然海岸であるヒスイ海岸



光と風が織りなす自然の芸術ともいえる屋気楼



2 ナショナルサイクルルートの指定要件



ナショナルサイクルルートの指定要件の観点と考え方

指定要件については、ハード・ソフト両面から一定の水準を満たす環境が必要であることに加え、これらの魅力的な環境を国内外に向けて情報発信すると共に、一貫したコンセプトの下で継続的に利用環境の水準の維持、更なる向上を図る必要があることを踏まえ、以下の観点、考え方に基づき設定。

観点	考え方	必須項目	推奨項目
1. ルート設定	サイクルツーリズムの推進に資する魅力ある安全なルートが設定されている	5項目	3項目
2. 走行環境	迷わず安心、安全に走行できる環境が整備されている	9項目	6項目
3. 受入環境	サイクリストのニーズに対応したサポートが充実している	6項目	13項目
4. 情報発信	必要な情報が容易に入手可能である	6項目	2項目
5. 取組体制	質の高いサイクリング環境を維持し、更なる向上を図るための継続的な取り組み体制がある	3項目	-

項目分類	考え方
必須項目	指定要件を評価する評価項目及び評価基準は、ナショナルサイクルルートとして満たすべき評価基準を必須項目として設定し、 <u>指定の際にすべて満たしていることを基本とする。</u>
推奨項目	また、更なるサイクリング環境の向上を目指した取組を促すため、満たしていることが望ましい評価基準を推奨項目として設定する。



3 主な指定要件()の達成状況

必須項目・基準のうち、指定の際にすべて満たすべき項目・基準

主な指定要件の達成状況(トカプチ400)



観 点：ルート設定
 指定要件： サイクルツーリズムの推進に資する魅力的で安全なルートであること

評価項目	評価基準	達成状況
ルート延長	・ルートの延長が概ね100km以上であること(ただし、離島・島しょ部は除く)。	403km

観 点：走行環境
 指定要件： 誰もが安全・快適に走行できる環境を備えていること
 誰もが迷わず安心して走行できる環境を備えていること

評価項目		評価基準	達成状況	
自転車 通行空間	改善の 必要なし	(都市部) ・自転車専用道路、自転車歩行者専用道路、自転車道及び自転車専用通行帯で整備された延長 ・車道混在の場合で矢羽根(10m以内の間隔)で整備された延長 (郊外部) ・自転車専用道路、自転車歩行者専用道路、自転車道及び自転車専用通行帯で整備された延長 ・車道混在の場合で交通量1万台未満: 矢羽根(100m程度の間隔)又は外側線外側に1.0m以上の幅員が確保された延長 交通量1万台以上: 矢羽根(100m程度の間隔)かつ外側線外側に1.0m以上の幅員が確保された延長	309km (内訳) 都市部 9km 郊外部 300km	
	審査時に なるよう 改善方針を提示	(都市部) ・車道混在の場合で矢羽根(10m超での間隔)又はブルーラインで整備された延長 (郊外部)・車道混在の場合で 交通量1万台未満: 矢羽根(100m超での間隔)又はブルーラインで整備された延長 交通量1万台以上: 矢羽根(100m程度の間隔)又はブルーライン若しくは外側線外側に1.0m以上の幅員が確保された延長	0km	
		未整備延長	94km (内訳) 都市部6km 郊外部88km 未整備区間	
案内表示	要設置箇所への設置割合	分岐部	・分岐部において、経路や距離に関する路面表示または案内看板が設置されていること。	73/73箇所
		単路部	・単路部において、概ね5kmごとに経路や距離に関する案内看板が設置されていること。	5km毎

主な指定要件の達成状況(トカプチ400)



観 点：受入環境
指定要件： 多様な交通手段に対応したゲートウェイが整備されていること
 いつでも休憩できる環境を備えていること
 サイクリストが安心して宿泊可能な環境を備えていること

評価項目		評価基準	達成状況
ゲートウェイ	サイクリング拠点の機能を有した鉄道駅等の有無	・以下の必要な機能を備えた空港、鉄道駅、道の駅等が1箇所以上あること。 【必要な機能】 レンタサイクル等が利用可能 / 必要な情報(ルートマップ など)が入手可能 / 必要な物品(タイヤチューブ、パーツ、携行食等)が購入可能 / 手荷物用ロッカー・着替えスペース / 空気入れ等の必要な工具の貸出	2箇所
サイクルステーション	サイクリスト休憩施設の密度	・以下の機能を備えたサイクルステーションが、ルート上に概ね20kmごとに整備されていること。 【必要な機能】 トイレ/空気入れの貸出し/水分補給が可能/休憩スペースがある/サイクルラックの設置/ルートマップなどの情報が入手可能	21箇所 平均 19km 最大 62km
宿泊施設	サイクリスト宿泊施設の密度	・ルート直近に以下の機能を備えた宿泊施設が概ね60kmごとにあること。 【必要な機能】 室内で自転車預かり・保管が可能 / フロント等で荷物の保管が可能 / 洗濯が可能	15箇所 平均27km 最大71km

観 点：情報発信
指定要件： 誰もがどこでも容易に情報が得られる環境を備えていること

評価項目		評価基準	達成状況
情報発信	多言語対応	・ホームページなどで日英2か国語以上により情報発信していること。	

主な指定要件の達成状況(太平洋岸自転車道)



観 点：ルート設定
指定要件： サイクルツーリズムの推進に資する魅力的で安全なルートであること

評価項目	評価基準	達成状況
ルート延長	・ルートの延長が概ね100km以上であること(ただし、離島・島しょ部は除く)。	1487km

観 点：走行環境
指定要件： 誰もが安全・快適に走行できる環境を備えていること
誰もが迷わず安心して走行できる環境を備えていること

評価項目		評価基準	達成状況	
自転車 通行空間	改善の 必要なし	(都市部) ・自転車専用道路、自転車歩行者専用道路、自転車道及び自転車専用通行帯で整備された延長 ・車道混在の場合で矢羽根(10m以内の間隔)で整備された延長 (郊外部) ・自転車専用道路、自転車歩行者専用道路、自転車道及び自転車専用通行帯で整備された延長 ・車道混在の場合で交通量1万台未満: 矢羽根(100m程度の間隔)又は外側線外側に1.0m以上の幅員が確保された延長 交通量1万台以上: 矢羽根(100m程度の間隔)かつ外側線外側に1.0m以上の幅員が確保された延長	1000km (内訳) 都市部 21km 郊外部 979km	
	審査時に なるよう 改善方針を提示	(都市部) ・車道混在の場合で矢羽根(10m超での間隔)又はブルーラインで整備された延長 (郊外部)・車道混在の場合で 交通量1万台未満: 矢羽根(100m超での間隔)又はブルーラインで整備された延長 交通量1万台以上: 矢羽根(100m程度の間隔)又はブルーライン若しくは外側線外側に1.0m以上の幅員が確保された延長	487km (内訳) 都市部 204km 郊外部 283km	
		未整備延長	4km (内訳) 都市部 3km 郊外部 1km 自歩道区間、 未整備区間	
案内表示	要設置箇所への設置割合	分岐部	・分岐部において、経路や距離に関する路面表示または案内看板が設置されていること。	498/498箇所
		単路部	・単路部において、概ね5kmごとに経路や距離に関する案内看板が設置されていること。	5km毎

主な指定要件の達成状況(太平洋岸自転車道)



観 点：受入環境
指定要件： 多様な交通手段に対応したゲートウェイが整備されていること
 いつでも休憩できる環境を備えていること
 サイクリストが安心して宿泊可能な環境を備えていること

評価項目		評価基準	達成状況
ゲートウェイ	サイクリング拠点の機能を有した鉄道駅等の有無	・以下の必要な機能を備えた空港、鉄道駅、道の駅等が1箇所以上あること。 【必要な機能】 レンタサイクル等が利用可能 / 必要な情報(ルートマップ など)が入手可能 / 必要な物品(タイヤチューブ、パーツ、携行食等)が購入可能 / 手荷物用ロッカー・着替えスペース / 空気入れ等の必要な工具の貸出	15箇所
サイクルステーション	サイクリスト休憩施設の密度	・以下の機能を備えたサイクルステーションが、ルート上に概ね20kmごとに整備されていること。 【必要な機能】 トイレ/空気入れの貸出し/水分補給が可能/休憩スペースがある/サイクルラックの設置/ルートマップなどの情報が入手可能	127箇所 平均12km 最大30km
宿泊施設	サイクリスト宿泊施設の密度	・ルート直近に以下の機能を備えた宿泊施設が概ね60kmごとにあること。 【必要な機能】 室内で自転車預かり・保管が可能 / フロント等で荷物の保管が可能 / 洗濯が可能	167箇所 平均 9km 最大83km

観 点：情報発信
指定要件： 誰もがどこでも容易に情報が得られる環境を備えていること

評価項目		評価基準	達成状況
情報発信	多言語対応	・ホームページなどで日英2か国語以上により情報発信していること。	

主な指定要件の達成状況(富山湾岸サイクリングコース)



観 点：ルート設定
 指定要件： サイクルツーリズムの推進に資する魅力的で安全なルートであること

評価項目	評価基準	達成状況
ルート延長	・ルートの延長が概ね100km以上であること(ただし、離島・島しょ部は除く)。	102km

観 点：走行環境
 指定要件： 誰もが安全・快適に走行できる環境を備えていること
 誰もが迷わず安心して走行できる環境を備えていること

評価項目		評価基準	達成状況	
自転車 通行空間	改善の 必要なし	(都市部) ・自転車専用道路、自転車歩行者専用道路、自転車道及び自転車専用通行帯で整備された延長 ・車道混在の場合で矢羽根(10m以内の間隔)で整備された延長 (郊外部) ・自転車専用道路、自転車歩行者専用道路、自転車道及び自転車専用通行帯で整備された延長 ・車道混在の場合で交通量1万台未満: 矢羽根(100m程度の間隔)又は外側線外側に1.0m以上の幅員が確保された延長 交通量1万台以上: 矢羽根(100m程度の間隔)かつ外側線外側に1.0m以上の幅員が確保された延長	35km (内訳) 都市部 1km 郊外部 34km	
	審査時に なるよう 改善方針を提示	(都市部) ・車道混在の場合で矢羽根(10m超での間隔)又はブルーラインで整備された延長 (郊外部)・車道混在の場合で 交通量1万台未満: 矢羽根(100m超での間隔)又はブルーラインで整備された延長 交通量1万台以上: 矢羽根(100m程度の間隔)又はブルーライン若しくは外側線外側に1.0m以上の幅員が確保された延長	64km (内訳) 都市部 19km 郊外部 45km	
		未整備延長	3km (内訳) 都市部2km 郊外部1km 自歩道区間	
案内表示	要設置箇所への設置割合	分岐部	・分岐部において、経路や距離に関する路面表示または案内看板が設置されていること。	57/57箇所
		単路部	・単路部において、概ね5kmごとに経路や距離に関する案内看板が設置されていること。	1~5km毎

主な指定要件の達成状況(富山湾岸サイクリングコース)



観 点：受入環境
指定要件： 多様な交通手段に対応したゲートウェイが整備されていること
 いつでも休憩できる環境を備えていること
 サイクリストが安心して宿泊可能な環境を備えていること

評価項目		評価基準	達成状況
ゲートウェイ	サイクリング拠点の機能を有した鉄道駅等の有無	・以下の必要な機能を備えた空港、鉄道駅、道の駅等が1箇所以上あること。 【必要な機能】 レンタサイクル等が利用可能 / 必要な情報(ルートマップ など)が入手可能 / 必要な物品(タイヤチューブ、パーツ、携行食等)が購入可能 / 手荷物用ロッカー・着替えスペース / 空気入れ等の必要な工具の貸出	1箇所
サイクルステーション	サイクリスト休憩施設の密度	・以下の機能を備えたサイクルステーションが、ルート上に概ね20kmごとに整備されていること。 【必要な機能】 トイレ/空気入れの貸出し/水分補給が可能/休憩スペースがある/サイクルラックの設置/ルートマップなどの情報が入手可能	8箇所 平均13km 最大20km
宿泊施設	サイクリスト宿泊施設の密度	・ルート直近に以下の機能を備えた宿泊施設が概ね60kmごとにあること。 【必要な機能】 室内で自転車預かり・保管が可能 / フロント等で荷物の保管が可能 / 洗濯が可能	2箇所 平均51km 最大53km

観 点：情報発信
指定要件： 誰もがどこでも容易に情報が得られる環境を備えていること

評価項目		評価基準	達成状況
情報発信	多言語対応	・ホームページなどで日英2か国語以上により情報発信していること。	



その他の必須項目・基準の達成状況

その他の必須項目・基準の達成状況(トカプチ400)



観 点：ルート設定
指定要件： サイクルツーリズムの推進に資する魅力的で安全なルートであること

評価項目		評価基準	達成状況
ルートの魅力		地域を代表する観光地(歴史・文化・景勝地等)、国際的に著名な観光地を有機的に連携し、魅力的な景観の地域を通過、複数の地形条件を通過して地形の変化を楽しむことができるルートとなっていること。	
ルートの安全性	狭小トンネル	狭小幅員のトンネルを含まないルートとすること。 近くに代替ルートが無い場合は狭小トンネルを利用したルートでもよいが、注意喚起すること。	16箇所あり注意喚起実施
ルートの連続性		自転車で通行できない区間がないこと。 近くに代替ルートが無い場合はやむを得ないものとするが注意喚起されているとともに、自転車を押して通行できること。	通行できない区間はない

観 点：走行環境
指定要件： 誰もが安全・快適に走行できる環境を備えていること
誰もが迷わず安心して走行できる環境を備えていること

評価項目		評価基準	達成状況
走行環境の安全性	注意喚起	トンネル、橋梁部、急勾配箇所の現地に注意喚起の看板等の案内表示がされていること。	狭小トンネル16箇所設置 橋梁9箇所、急勾配13箇所設置
	自転車保険	自転車損害賠償責任保険等の加入を義務(努力義務を含む)付ける条例が制定されていること。	条例あり
快適性		未舗装区間がないこと。ただし、快適性の劣らない自然地の未舗装区間等を除く。	全線舗装
案内表示	ピクトグラムによる案内	海外のサイクリストでも認識可能な多言語(日英2か国語以上)やピクトグラムでの案内となっていること	ピクトグラムを用いている

その他の必須項目・基準の達成状況(トカプチ400)



観 点：受入環境
指定要件： 多様な交通手段に対応したゲートウェイが整備されていること
 緊急時のサポートが得られる環境を備えていること

評価項目		評価基準	達成状況
ゲートウェイからのアクセスルート		ゲートウェイとルート間のアクセスルートが整備されており、そのアクセス方法もわかりやすく案内されていること。	ルート沿いなので必要なし
緊急時対応	緊急車両進入路	緊急時の事故対応等のため、自転車専用道路等に緊急車両の侵入が可能な環境が整備されていること。または、概ね2kmごとにアクセスが可能な環境が整備されていること。	アクセス可能
	緊急時連絡サポート	緊急時の連絡体制やサポート可能な施設情報がルートマップ及びホームページなどに記載されており、サイクリストが困らない情報提供がなされていること。	情報提供がされている

観 点：情報発信
指定要件： 誰もがどこでも容易に情報が得られる環境を備えていること

評価項目		評価基準	達成状況
情報発信	ルートマップ	ルートの経路や必要な情報・緊急時対応の内容が記載されたルートマップが作成されていること。インバウンドの旅行者でも理解できるものであること	作成している(4か国語)
		観光案内所、交通拠点、宿泊施設、サイクルステーションなどで容易に入手できること。	入手可能
		データをホームページ上にアップし、PCまたはスマートフォンで閲覧できるとともに、PDF等でダウンロード可能であること。	HPからDL可

観 点：取組体制
指定要件： 官民連携によるサイクリング環境の水準維持等に必要な取組体制が確立されていること

評価項目		評価基準	達成状況
取組体制		官民が連携し一体的に協議・検討・議論を行う常設の協議会、事務局が設置されていること。定期的開催されていること	設置。定期的開催
地方版自転車活用推進計画への位置づけ		指定されたナショナルサイクルルートに関する水準維持等に向けた取組内容を都道府県・政令市の地方版自転車活用推進計画に具体的に位置づけること。	位置づけ済

その他の必須項目・基準の達成状況(太平洋岸自転車道)



観 点：ルート設定
指定要件： サイクルツーリズムの推進に資する魅力的で安全なルートであること

評価項目		評価基準	達成状況
ルートの魅力		地域を代表する観光地(歴史・文化・景勝地等)、国際的に著名な観光地を有機的に連携し、魅力的な景観の地域を通過、複数の地形条件を通過して地形の変化を楽しむことができるルートとなっていること。	
ルートの安全性	狭小トンネル	狭小幅員のトンネルを含まないルートとすること。 近くに代替ルートが無い場合は狭小トンネルを利用したルートでもよいが、注意喚起すること。	66箇所あり 注意喚起設置
ルートの連続性		自転車で行けない区間がないこと。 近くに代替ルートが無い場合はやむを得ないものとするが注意喚起されているとともに、自転車を押して通行できること。	通行できない区間はない

観 点：走行環境
指定要件： 誰もが安全・快適に走行できる環境を備えていること
誰もが迷わず安心して走行できる環境を備えていること

評価項目		評価基準	達成状況
走行環境の安全性	注意喚起	トンネル、橋梁部、急勾配箇所の現地に注意喚起の看板等の案内表示がされていること。	狭小トンネル66箇所設置 橋梁48箇所・急勾配53箇所設置
	自転車保険	自転車損害賠償責任保険等の加入を義務(努力義務を含む)付ける条例が制定されていること。	条例あり
快適性		未舗装区間がないこと。ただし、快適性の劣らない自然地の未舗装区間等を除く。	全線舗装
案内表示	ピクトグラムによる案内	海外のサイクリストでも認識可能な多言語(日英2か国語以上)やピクトグラムでの案内となっていること	ピクトグラムを用いている

その他の必須項目・基準の達成状況(太平洋岸自転車道)



観 点：受入環境
指定要件： 多様な交通手段に対応したゲートウェイが整備されていること
 緊急時のサポートが得られる環境を備えていること

評価項目		評価基準	達成状況
ゲートウェイからのアクセスルート		ゲートウェイとルート間のアクセスルートが整備されており、そのアクセス方法もわかりやすく案内されていること。	設置
緊急時対応	緊急車両進入路	緊急時の事故対応等のため、自転車専用道路等に緊急車両の侵入が可能な環境が整備されていること。または、概ね2kmごとにアクセスが可能な環境が整備されていること。	アクセス可能
	緊急時連絡サポート	緊急時の連絡体制やサポート可能な施設情報がルートマップ及びホームページなどに記載されており、サイクリストが困らない情報提供がなされていること。	情報提供がされている

観 点：情報発信
指定要件： 誰もがどこでも容易に情報が得られる環境を備えていること

評価項目		評価基準	達成状況
情報発信	ルートマップ	ルートの経路や必要な情報・緊急時対応の内容が記載されたルートマップが作成されていること。インバウンドの旅行者でも理解できるものであること	作成している (2か国語)
		観光案内所、交通拠点、宿泊施設、サイクルステーションなどで容易に入手できること。	入手可能
		データをホームページ上にアップし、PCまたはスマートフォンで閲覧できるとともに、PDF等でダウンロード可能であること。	HPからDL可

観 点：取組体制
指定要件： 官民連携によるサイクリング環境の水準維持等に必要な取組体制が確立されていること

評価項目		評価基準	達成状況
取組体制		官民が連携し一体的に協議・検討・議論を行う常設の協議会、事務局が設置されていること。定期的開催されていること	設置。概ね年に1回開催
地方版自転車活用推進計画への位置づけ		指定されたナショナルサイクルルートに関する水準維持等に向けた取組内容を都道府県・政令市の地方版自転車活用推進計画に具体的に位置づけること。	指定後速やかに位置づけ

その他の必須項目・基準の達成状況(富山湾岸サイクリングコース)



観 点：ルート設定
指定要件： サイクルツーリズムの推進に資する魅力的で安全なルートであること

評価項目		評価基準	達成状況
ルートの魅力		地域を代表する観光地(歴史・文化・景勝地等)、国際的に著名な観光地を有機的に連携し、魅力的な景観の地域を通過、複数の地形条件を通過して地形の変化を楽しむことができるルートとなっていること。	
ルートの安全性	狭小トンネル	狭小幅員のトンネルを含まないルートとすること。 近くに代替ルートが無い場合は狭小トンネルを利用したルートでもよいが、注意喚起すること。	1箇所あり 注意喚起実施
ルートの連続性		自転車で通行できない区間がないこと。 近くに代替ルートが無い場合はやむを得ないものとするが注意喚起されているとともに、自転車を押して通行できること。	新湊大橋は通行できないが押し歩き可能 (注意喚起あり)

観 点：走行環境
指定要件： 誰もが安全・快適に走行できる環境を備えていること
誰もが迷わず安心して走行できる環境を備えていること

評価項目		評価基準	達成状況
走行環境の安全性	注意喚起	トンネル、橋梁部、急勾配箇所の現地に注意喚起の看板等の案内表示がされていること。	狭小トンネル 1箇所設置
	自転車保険	自転車損害賠償責任保険等の加入を義務(努力義務を含む)付ける条例が制定されていること。	条例あり
快適性		未舗装区間がないこと。ただし、快適性の劣らない自然地の未舗装区間等を除く。	全線舗装
案内表示	ピクトグラムによる案内	海外のサイクリストでも認識可能な多言語(日英2か国語以上)やピクトグラムでの案内となっていること	ピクトグラムを用いている

その他の必須項目・基準の達成状況(富山湾岸サイクリングコース)



観 点：受入環境
指定要件： 多様な交通手段に対応したゲートウェイが整備されていること
 緊急時のサポートが得られる環境を備えていること

評価項目		評価基準	達成状況
ゲートウェイからのアクセスルート		ゲートウェイとルート間のアクセスルートが整備されており、そのアクセス方法もわかりやすく案内されていること。	ルート沿いなので必要なし
緊急時対応	緊急車両進入路	緊急時の事故対応等のため、自転車専用道路等に緊急車両の侵入が可能な環境が整備されていること。または、概ね2kmごとにアクセスが可能な環境が整備されていること。	アクセス可能
	緊急時連絡サポート	緊急時の連絡体制やサポート可能な施設情報がルートマップ及びホームページなどに記載されており、サイクリストが困らない情報提供がなされていること。	情報提供がされている

観 点：情報発信
指定要件： 誰もがどこでも容易に情報が得られる環境を備えていること

評価項目		評価基準	達成状況
情報発信	ルートマップ	ルートの経路や必要な情報・緊急時対応の内容が記載されたルートマップが作成されていること。インバウンドの旅行者でも理解できるものであること	作成している(2か国語)
		観光案内所、交通拠点、宿泊施設、サイクルステーションなどで容易に入手できること。	入手可能
		データをホームページ上にアップし、PCまたはスマートフォンで閲覧できるとともに、PDF等でダウンロード可能であること。	HPからDL可

観 点：取組体制
指定要件： 官民連携によるサイクリング環境の水準維持等に必要な取組体制が確立されていること

評価項目		評価基準	達成状況
取組体制		官民が連携し一体的に協議・検討・議論を行う常設の協議会、事務局が設置されていること。定期的開催されていること	設置。年度1回開催
地方版自転車活用推進計画への位置づけ		指定されたナショナルサイクルルートに関する水準維持等に向けた取組内容を都道府県・政令市の地方版自転車活用推進計画に具体的に位置づけること。	指定後速やかに位置づけ